



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会
発行人 会長 岡林 正光
事務局 〒780-0850
高知市丸ノ内 1 丁目 7 番 45 号
総合あんしんセンター 2 階
TEL 088-872-4585
Mail tomozen-akihiryu@power.odn.ne.jp

所 感

「乳がん」

事務局担当理事 足達麻衣

先日、乳がんで手術入院する患者様に「おかげ様でこの前の検診で乳がんを見つけていただいて」と言われた。早期の乳がんとのこと。一方、呼吸器症状で受診された方は進行した乳がんの肺転移だった。しこりに気づいていながら受診せず、かなり大きな腫瘍となり転移してしまった。受診するのが怖かったとのこと。

高知県の女性に最も多いがんは乳がん。しかし、乳がん検診受診率は 22% (2011 年度)。乳がん検診に限らず、検診は自覚症状がない状態で受けるもの。意識が低ければなかなか時間を割くことができず、1 年過ぎ、2 年過ぎ・・・と気づけば何年も経っていることがあるのではないのでしょうか。厚生労働省の方針で 2010 年度より年齢によって乳がん検診無料クーポン券が送られる。無料だから受けやすいかと思いきや、いつの間にか期限が来て流してしまわないだろうか？しかも無料クーポンで受けたリピーター率も低い。なぜ受診者が少ないのか？

乳がん検診ではマンモグラフィを第一選択とする。年齢によってマンモグラフィだけでは分かりにくいので乳腺エコーをお勧めしたりする。この第一選択となるマンモグラフィは『痛い』の一言で敬遠される傾向があり、周囲から『痛い』『小さいから挟めない』などなどマイナス要素ばかり叩き込まれ、受診することに尻込みしてしまうようだ。ただ、『痛い』と脅されて受けた方の中には「思ったほど痛くなかった」と言われる方が多い。痛み感覚は人それぞれであることとその時の乳房の張り具合にも左右されると思う。もう一つ、乳がんは他のがんと違い、自分で乳房全体を見られたり触れられたりできるため、自分で早期に発見することも可能。定期的な自己チェックもお勧めしたい。その時に何かあればすぐ受診を。

高知市では 2 年に一度、公費で乳がん検診が受けられる。定期的な受診で早期発見、早期治療！！

会の動き

平成 26 年度 第6回常務理事会

10 月 7 日（火）、総合あんしんセンターにて第 6 回常務理事会を開催した。

リレーフォーライフジャパン 2014 高知

本年も台風 19 号接近の不安の中、10 月 11～12 日に、上記のがんと向き合うチャリティーイベントが高知市城西公園にて開催されました。参加チームは年々増加し、本年は愛媛からの参加もあり 47 チームがそれぞれのタスキをつないで夜通し歩きました。

本会は昨年末の実行委員会から事業に関わり、行事前日の会場設営から当日の記録係、そして後片付けまで責務を無事に果たすことができました。台風接近の空模様で、早めのテントの撤収作業に少しトラブルはありましたが、結局は正午までに撤収作業が完了することができました。

当日の本会ブースでは放射線パネル展示や超音波による骨密度測定が行われ、40 名の方が測定を受けました。残念ながら放射線に関する相談はありませんでしたが、骨密度についての相談が続き、検査の種類や日常生活注意等のアドバイスをしていました。夜はブース裏でバーベキューを交代で楽しみ、よき情報交換の場となりました。

天候のせいで今回は 22 時間のウォークとなってしまいましたが、参加していただいた本会会員 21 名のみなさん、本当にお疲れ様でした。後片付けまでありがとうございました。また、他チームで参加されたり、マンモ検診、出店に携わった診療放射線技師のみなさんもお疲れ様でした。

年々、チャリティー出演の舞台イベントも充実しており、気になる空の下に今回も 2 千人を超える方々が集い、それぞれの想いを胸に歩かれていた姿が印象的な取り組みとなりました。本会の果たすべき役割も参加者の増加に伴い、更に大きくなると思います。今以上に多くの会員の参加が必要です。来年も同時期に開催いたしますので、参加の程、よろしくお願ひ申し上げます。



お知らせ**平成26年度第2回西南部地区会および
第21回西南部地区画像研究会および懇親会のお知らせ**

西南部地区理事 岡林史朗

日時 平成 26 年 11 月 29 日 (土)
平成 26 年度第 2 回西南部地区会 14 : 00～
第 21 回西南部地区画像研究会 15 : 00～
情報交換会 18 : 00～
場所 幡多けんみん病院 3F 中会議室

秋の気配も感じてきたこの頃ですが皆様いかがおすごしでしょうか。

第 21 回西南部地区画像研究会を上記の要領で行います。本年度は西南部地区のみなさまにご協力いただいたアンケート結果を大正診療所の大川さんにまとめて頂き「西南部地区災害に備える防災アンケート～地域を守る災害医療～」として発表していただきます。他施設の防災の備えやマニュアルなどの興味のある結果が拝聴できることとしますので地区内外からの多数のご参加をお待ちしております。

また画像研究会の後に情報交換会も設けます。例年では幡多の魚を食べて盛り上がるのですが、日程がイイニク (11/29) の日ですのでお肉もいいかなと考えています。こちらのほうもふるってのご参加をお願いいたします。詳しい内容は幡多けんみん病院放射線室 (0880-66-2222)、岡林までお願いします。

/// エッセー //

その 128 (岸田 豊和 : 近森病院)

上町病院の村岡正浩さんから紹介されました、近森病院の岸田豊和です。村岡さんとは、中央西地区の地区会等で知り合い、親しくさせてもらってます。技師会のイベントがある度に声をかけさせてもらってますが、嫌な顔ひとつせずに参加してもらってたので助かりました。歳も近いせいか趣味も似ているようで、バイクの話で盛り上がりました。確か、飲み会の席で「ツーリングに行こうや！」って約束したのですが、すっかり口約束になっていますし、僕のバイクは庭で整備中？になっています。今年は修理して来春辺りにはプチツーリングでも行きたいですね。村岡さんはゴルフもたしなむようなので是非とも一緒にしたいです。ちなみに僕は3年程前に初め、3年程前に断念した腕前です。

さて僕の経歴ですが、確か 1997 年に近森病院に入職し、山本前技師長に熱血のご指導をしてもらい、なんとか診療放射線技師にもらった気がします。毎日、滅茶苦茶に怒られていました (笑)。当時は全然笑う余裕がなかったのを思い出しました。それから Y2K 問題を乗り越え、CR になり、電子カルテ、フィルムレス、フラットパネル化、CT の多列化等、目まぐるしく進歩してきました。最近では IVRCT やハイブリッド OR も導入され、気がつけばヘリコプターが飛んで来たりしています (汗)。入職したての頃は午後の暇な時間に、皆で自動現像機を洗ったりしてました。今では考えられない懐かしい思

い出ですね。万年、平なのですが、歳をとってくると雑用？が増え、なんか忙しいです。ストレス発散に何かとイベントを作りモチベーションを上げています。今年は「岸田豊和、四季を釣る！！」で始まったのですが、前半戦からボロボロで早くも後半戦です。4月、5月はアオリイカ、6月はキス、7月はタコ、8月はカマス、10月から今年いっぱいまではタチウオの予定です。タコに至っては、ロッドも新調したのに釣行する機会も少なく1杯も釣れず・・・言い訳ですが、釣れなくても、海を見てたら癒やされます。最近ではパトロール化してますが・・・

そんな僕の急な誘いに、すぐに乗っかってくる、顔がタコに似ているのか？前世がタコなのか？タコ釣り名人と呼ばれる、

「安芸病院の文野孝史さんにバトンタッチ！」お願いします。

訃報

高知県の放射線医療に貢献されました、森田 賢先生が 10 月 5 日逝去されました。ここに生前中のご厚誼に対し心から御礼申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

総務報告 (2014/10/07 付)

1. 高知県の会員数	<u>221</u> 名
2. 本年度会費納入者	<u>170</u> 名
賛助会員	<u>10</u> 社
3. 25年度未納入者	<u>11</u> 名
4. 今年度新入会員数	<u>3</u> 名
(今月の新入会)	<u>1</u> 名
岡崎 敬介 高知医療センター	
5. 今年度再入会員数	<u>1</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 今年度退会者数	<u>0</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. 今月の会員異動	なし

以上

(文責編集広報)

この技師会だよりは、**キタムラメディカル**と**和光商事**のご協力により会員の皆さんに配送されています。